

## 2. 清澄庭園「庭園アカデミー」

東京都公園協会では、管理を行っている9つの都立文化財庭園のうち、5つの庭園が江戸時代に築庭されていることから、江戸に焦点を当て、庭園文化にちなんだテーマを掘り下げる連続講演会を開催しています。今年は「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」にあわせ、「江戸の緑 東京の緑」をメインテーマに各分野の専門家の方をお招きして清澄庭園にて開催します。昨年に引き続き、江戸時代の再現和菓子を、講演別にお土産としてご用意しております。



清澄庭園 大正記念館

(1) 場 所 清澄庭園大正記念館

(2) 内 容

①「清澄庭園開園80周年記念講演 清澄庭園12の魅力」

日 時： 7月28日(土)

14時～15時30分

内 容： 清澄庭園は、江戸時代の大名庭園を、明治から大正にかけ三菱財閥の富豪である岩崎家三代が受けついだ名園です。関東大震災で邸宅を失いましたが、大正13年に東京都が寄贈を受け、長く都民の庭園として親しまれ、ここに開園80周年を迎えました。今回はこれを記念して名園の魅力をも12に分け、どのような方法でこの優れた庭園が造られたかを分かりやすく説明します。清澄庭園の鑑賞にあたって必要な知識が得られます。

講 師： 河原武敏氏(元東京農業大学教授)

講師プロフィール：

河原 武敏(かわはら たけとし)

1931年東京都に生まれる。東京農業大学卒。1953年東京都建設局で公園行政に従事、1976年東京農業大学教授として造園・緑地学などを担当、建設省建設大学校など多くの講師を兼任。2001年に定年退職後は各種造園団体やシルバー大学院などで講演。論文多数。著書に「庭園づくり入門」「日本庭園の伝統施設」等。共著多数。現在は日本庭園協会相談役。東京都慰霊協会理事。日本庭園学会名誉会員理事元学会長など。



定 員： 80名

参加費： 1,000円(入園料別途)

締切日： 7月12日(木)

②「江戸東京野菜の物語」

日 時： 8月18日(土)

14時～15時30分

内 容： 江戸に幕府が置かれたことで、江戸は急激な人口増から生鮮野菜が不足し、大名たちは国元から野菜の種を取り寄せ、屋敷で栽培しました。享保年間、人口百万を擁す

る江戸は田園都市で、村々には地域の名前が付いた野菜が生産され、旅人などは、国の民の生活が豊かになるよう、江戸土産として、練馬大根、滝野川牛蒡など、全国各地に持ち帰りました。一つ一つに物語がある江戸東京野菜。その物語を解説します。

講師： 大竹道茂氏（江戸東京・伝統野菜研究会代表）



講師プロフィール：

**大竹 道茂（おおたけ みちしげ）**

江戸東京野菜コンシェルジュ育成協議会会長。FOOD ACTION NIPPON 推進パートナー。農水省選定「地産地消の仕事人」。農水大臣任命「ボランティア・プランナー」。JA東京中央会で平成元年より江戸東京野菜の復活に取り組み、平成9年には江戸東京農業の説明板50本を都内に設置企画。著書に「江戸東京野菜（物語篇）」。「江戸東京野菜（図鑑篇）」監修。ブログ「江戸東京野菜通信」「大竹道茂の江戸東京野菜ネット」で情報を発信中。

定員： 80名  
参加費： 1,000円（入園料別途）  
締切日： 8月4日（土）

### ③「観賞から文化遺産へ・江戸園芸」

日時： 9月15日（土）  
14時～15時30分

内容： 江戸時代にこの国では、当時の世界でも最高水準といわれる園芸文化が開花しました。江戸の暮らしへの関心が高まる中で、その園芸文化についても多様な評論があります。本講座では、長い日本の歴史の中で人々が花や緑の観賞という習俗を得て江戸時代に至った経緯と、至高に達した江戸園芸の特徴や独自性をまとめてみるとともに、これらが世界に誇るべき文化遺産であることを考えてみます。

講師： 賀来宏和氏（千葉大学大学院客員教授）



講師プロフィール：

**賀来 宏和（かく ひろかず）**

1954年福岡県生まれ。千葉大学大学院園芸学研究科修了。1979年建設省入省。都市局公園緑地課課長補佐を経て、1992年同省を退職。株式会社グリーンダイナミクスを設立し、「全国都市緑化フェア」「国際園芸博覧会」「ジャパンフラワーセレクション」「平成遷都1300年記念事業」等の花と緑の企画プロデュース業務に携わる他、講演会等で活躍中。現在、会社経営の他、千葉大学大学院園芸学研究科客員教授。金沢美術工芸大学非常勤講師。英国王立園芸協会日本支部理事など。

定員： 80名  
参加費： 1,000円（入園料別途）  
締切日： 8月30日（木）

### (3) 申込方法（各講座共通）

- 往復はがきまたはメールでお申込みください。
- 複数の講座をご希望の場合は、講座ごとにお申込みください。
- 申込多数の場合は抽選です。

○ 講座ごとに締切日が異なりますので、ご注意ください。

**【往復はがきの場合】**

往復はがきに、①講座名、②参加日、③代表者の氏名・年齢、④代表者の郵便番号・住所・電話番号、⑤参加者全員の氏名・年齢、⑥返信用の住所欄に返信先の住所・氏名をお書きの上、下記までお申込みください。

※1枚のはがきで、複数講座への応募は無効となりますのでご注意ください。

**【宛 先】** 〒160-0021  
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1  
東京都健康プラザ「ハイジア」10階  
公益財団法人東京都公園協会 文化財庭園課  
「庭園アカデミー」係 宛

**【メールの場合】**

件名に参加希望の講座名を書き、本文に①講座名、②参加日、③代表者の氏名・年齢、④代表者の郵便番号・住所・電話番号、⑤参加者全員の氏名・年齢をお書きの上、下記のメールアドレスにメールをお送りください。

※メール1通で、複数講座への応募は無効となりますのでご注意ください。

**【送信先】** メールアドレス：[2teien-kouza@tokyo-park.or.jp](mailto:2teien-kouza@tokyo-park.or.jp)

(4) 注意事項

- 参加費は当日会場受付にてお支払いいただきます。
- 応募者多数の場合は抽選とし、結果は全員に通知します。

(5) 「庭園アカデミー」に関する問い合わせ先

公益財団法人東京都公園協会 公園事業部 文化財庭園課

電話：03-3232-3018

メールアドレス：[2teien-kouza@tokyo-park.or.jp](mailto:2teien-kouza@tokyo-park.or.jp)

## 清澄庭園について

都指定名勝。江戸時代、下総国関宿の城主・久世大和守の下屋敷を含むこの邸地を、明治11（1878）年に岩崎彌太郎が買い取り、社員の慰安や貴賓を招待する場所として、明治13（1880）年に「深川親睦園」として開園しました。彌太郎亡き後、弟の彌之助、息子の久彌により造園工事が進められ、隅田川の水を引いた大泉水を造り、周囲には全国から取り寄せた名石を配して、明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」が完成しました。

なお、大正12（1923）年9月の関東大震災や昭和20（1945）年3月の大空襲の時には避難所として多くの命を救いました。

【開園時間】 9時～17時（最終入園は16時30分）

【休園日】 12月29日～1月1日

【住所】 江東区清澄3-3-9

【交通】 都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線 清澄白河駅下車 A3出口から徒歩3分

※駐車場はございません。

【入園料】 一般 150円 65歳以上 70円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料

【問い合わせ先】 清澄庭園サービスセンター 電話：03-3641-5892

【庭園ガイド】 日曜日・祝日 11時・14時（各回1時間程度）

集合：券売所前 参加費：無料

## 【アクセス】



## 【園内マップ】



# TOKYO GREEN 2012

平成24年9月29日(土)～10月28日(日) | 上野恩賜公園 井の頭恩賜公園 日比谷公園  
浜離宮恩賜庭園 海の森 国営昭和記念公園

東京都では、花と緑に関する全国的なイベント「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」を開催します。当庭園は、同フェアのサテライト会場として位置づけられています。